

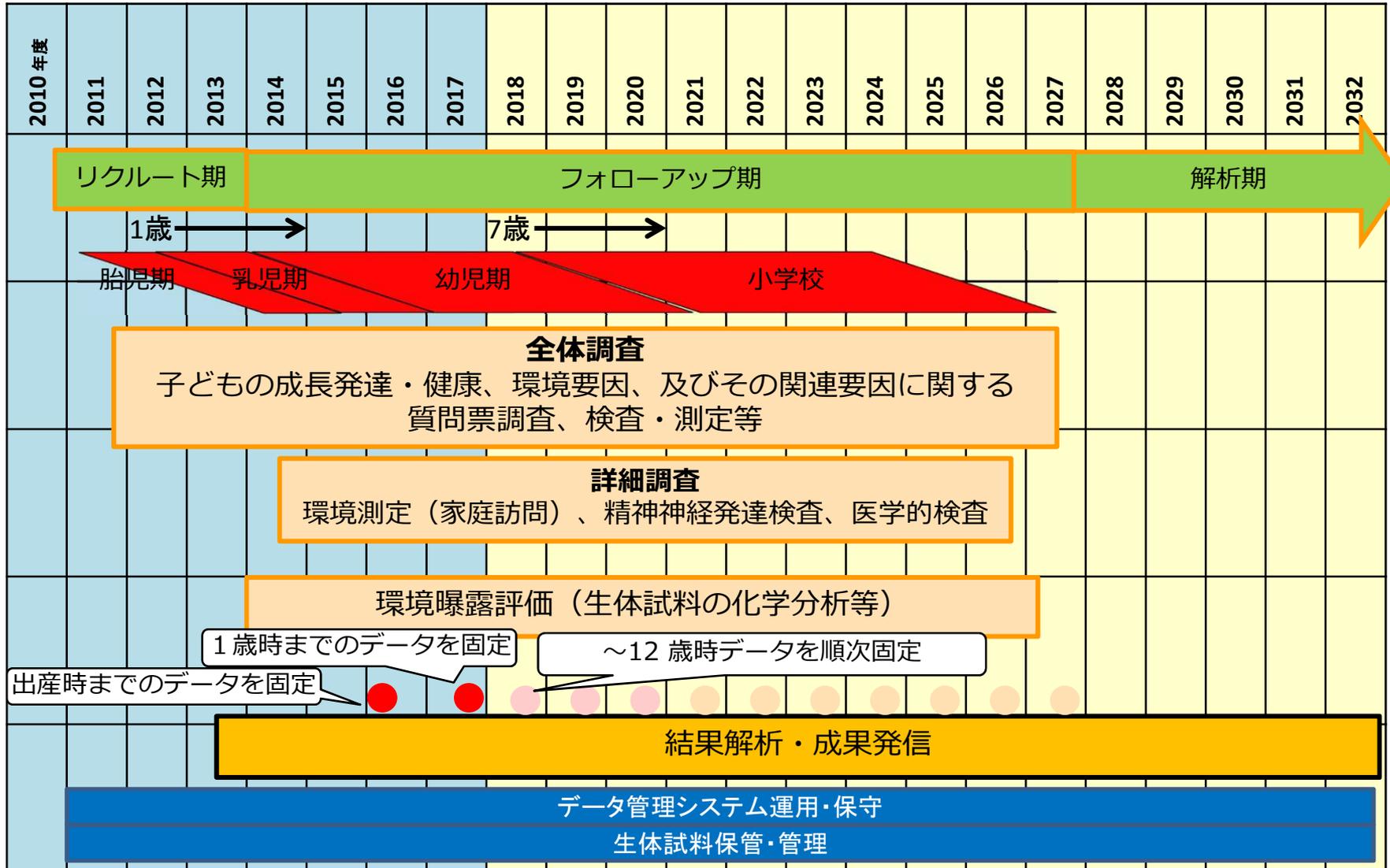
エコチル調査の進捗状況

2018年3月15日

国立研究開発法人国立環境研究所

エコチル調査コアセンター

エコチル調査ロードマップ



エコチル調査の進捗状況

■全体調査

[母親登録件数] 103,097件※

[父親登録件数] 51,909件※

[子ども出生数] 100,108名※

※ 平成29年7月末時点の整理。

母親、父親の登録件数は延べ登録件数。

母親・父親の登録件数、子どもの出生数のいずれも、打ち切りとなったもの、協力取り止め等となったもの、住所不明となっているもの等の件数・人数が含まれる。

現在も、参加者ステータスの詳細確認を進めているところであり、上記件数・人数も今後修正する可能性がある。

[現参加者数(子ども)] 96,641名

(平成30年1月末時点)

1. 質問票調査

生後6か月以降の質問票調査を、子どもの成長に合わせて順次実施中。

- 出生後6カ月、1歳、1歳半、2歳、2歳半、3歳質問票調査については発送完了。
- 出生後3歳半質問票調査は約9万2千名に実施
- 出生後4歳質問票調査は約7万5千名に実施
- 出生後4歳半質問票調査は約5万7千名に実施
- 出生後5歳質問票調査は約4万名に実施
- 出生後5歳半質問票調査は約2万6千名に実施
- 出生後6歳質問票調査は約1万2千名に実施

- 出生後7歳質問票は平成30年度春から実施予定
- 小学1年生質問票は平成30年度秋に第1回の実施予定

(平成30年1月30日現在)

2. 詳細調査の実施等、参加者への結果報告

- 詳細調査のリクルートを完了し、環境測定(H26.11～)、医学的検査及び精神神経発達検査(H27.4～)を、継続して実施中。

【詳細調査の概要】

- 対象者は2013年4月以降に出生した全体調査の参加者のうち全国で約5,000人。
- 調査内容
 - 環境測定(室内のハウスダスト、VOCs、アルデヒド・酸性ガス、PM2.5)
 - 精神神経発達検査(新版K式発達検査)
 - 医学的検査(身体計測、バイタルサイン、身体所見、血液検査、尿検査)
- 調査時期
 - 環境測定は1.5～2歳と3～4歳の2回
 - 精神神経発達検査、医学的検査は2歳、4歳の2回
- 結果の返却
- 6歳調査(医学的検査)の研究計画を策定(H29.8.1)
8歳以降の調査については、今後さらに検討を行う



採血の実施イメージ

【詳細調査 実施状況】

- 平成26年10月～ 詳細調査リクルート開始
- 11月～ 1.5歳時環境測定(完了)
- 平成27年4月～ 2歳時医学的検査、精神神経発達検査(完了)
- 平成28年4月～ 3歳時環境測定(完了)
- 8月 5,014名の応諾で、リクルート完了
- 平成29年4月～ 4歳時医学的検査、精神神経発達検査(実施中)



新版K式発達検査の様子(2歳)

3. 生体試料の化学分析等の実施

- 少量かつ多数の試料の効率的な分析法の検討・開発に取り組み、生体試料等の化学分析を厳密な精度管理の下、本格的に実施中。
 - － 妊娠中後期の母親血液中の金属類(カドミウム、鉛、水銀、セレン、マンガン)
H26年度: 2万検体、H27年度: 4万検体、H28年度: 4万検体
 - － 妊娠中後期の母親尿中のコチニン等
H26年度: 1.2万検体、H27年度: 2.3万検体、H28年度: 4万検体、
H29年度: 2.2万検体(予定)
 - － 妊娠中後期の母親血液中の有機フッ素化合物
H29年度: 2.5万検体(予定)
 - － その他残留性有機化学物質(POPs)、農薬代謝物、フェノール類、メチル水銀等
血液、尿、母乳試料等を対象として、当面の分析項目の選定・絞込みを実施し、一部分析に着手。
- 遺伝的要因の把握に必要な生体試料の前処理作業に着手。
 - － 補正予算により、臍帯血をより安定的な状態で保存するための前処理作業を準備中。
 - － 遺伝子解析結果を利用して、今後の解析をどのように進めるか引き続き検討する。